

3月末の人口  
 世帯数 487世帯  
 男 641人  
 女 652人  
 計 1,293人  
 (馬路 1,003人)  
 (魚梁瀬 290人)


**広報**  
**うまじ**

平成7年4月1日発行  
 第一六二号  
 編集 馬路村教育委員会  
 発行 馬路村教育委員会  
 印刷 安芸タイプ



おめでとう!!

お世話になった先生  
 (↑馬路中) 保護者の皆さんと一緒に  
 (→魚梁瀬中)



# 今月のスポット

## 《2 月》

- 2日 保育所豆まき
- 4日 親子凧作り
- 5日 市町村対抗駅伝競争大会 (室戸市↔安芸市)
- 11日 中芸地区子ども駅伝大会
- 12日 馬路村親子野球大会
- 15日 歯の衛生指導日
- 16日 60歳いきいき大学  
確定申告受付
- 17日 保育所記念撮影  
給食サービス・ボランティア視察研修旅行  
(安田・岡山・18日まで)  
東部美術展 (芸西村・20日まで)
- 18日 馬路保育所お店ごっこ  
第13回村民駅伝競争大会
- 20日 スキー教室 (愛媛県久万スキーランド)  
三者 (農協・森林・役場) 懇談会
- 21日 馬路保育所1日入学
- 22日 保育所人形劇
- 24日 60歳いきいき大学
- 25日 魚梁瀬小ひなまつり発表会
- 26日 第19回足摺半島一周駅伝競争大会
- 28日 納税相談

## 《3 月》

- 3日 魚梁瀬保育所1日入学
- 4日 馬路小ひなまつり発表会
- 10日 公立高等学校入学試験 (11日まで)
- 12日 健康ウォーク・神峯へ登ろう
- 15日 馬路中卒業式
- 18日 60歳いきいき大学卒業式
- 19日 魚梁瀬中卒業式
- 22日 魚梁瀬保育所卒園式
- 23日 両小学校卒業式
- 24日 馬路保育所卒園式
- 25日 村内小中学校学年末休業 (31日まで)
- 30日 庄屋祭・村表彰



## 村内あちらこちら



2月11日 中芸地区子ども駅伝大会



2月12日 馬路村親子野球大会



2月18日 第13回村民駅伝競争大会



2月20日 三者(農協・森林・役場)懇談会



2月21日 青少年健全育成研究集会

▶ 鬼をやっつけるぞ！



# いま保育所で

3/8 保育所長 丸山佳子

寒い毎日が続きました。そんな中でも、子どもたちは、すてきな氷づくりをしようとして、色画用紙を小さく切って、いろいろな容器に入れて水を張り、園庭のあちこちに置いて、明日の朝を待ちました。

2月に入ると、節分豆まき。みんなの中の、泣きむし鬼、いじ悪鬼、おこりんぼ鬼、ぐずぐず鬼、うそつき鬼、おかず好き嫌い鬼、仕事しない鬼など……：いないかな！小さいけど、とても強い豆をぶつけて、

「鬼は外！鬼は外！」今年一年、元気に過ごせるようにと豆まきをしました。

季節を分ける節分も過ぎて、少しずつ水ぬるむ頃、魚梁瀬保育所では、毎日、工夫して製作した品々での、お買物ごっこや、ゲーム大会で楽しく過ごしました。又、馬路保育所では、保護者の皆さんのご協力で、子どもの店、大人の店の即売、そして食堂と、にぎやかに、楽しくお店ごっこが出来ました。

子どもたちにとって、何よりも楽しい思い出となったのは、馬路保育所での、二月二十二日の人形劇団「かかし座」の公演でした。子どもたちは、前日からの荷物運びの手伝いや、舞台組み立ての作業をわくわくして眺めたり、当日は、朝早くから登園して興奮していました。魚梁瀬保育所全員、馬路小学校一年生。聞きつけて集まってくれた、小さいお友だちや祖父母様たち。生の人形に接し、触れ合い、感動の時間でした。今日も、二才



児は、「先生、また人形連れてきてね」と言っています。

今、保育所の庭では、秋に子どもたちが植えた、チューリップの芽が伸び、クロッカスもかわいい花を咲かせています。

お別れーと、名のつく行事が、めじろ押し三月。でも、子どもたちは、お別れとゆうより、うれしいわくわくの気持ちでいっぱいです。

卒園おめでとう！！とうとうこの言葉を口にする時が近づいている。一年生になるのを心待ちにしている卒園生。進級を待っている在園生。人生

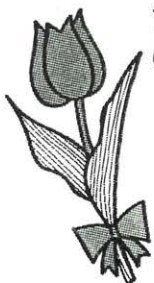


▲ 人形劇を見てるんだい！！

における、最初の、この別れとゆう出来事を、幼い日の経験として、どのように位置づけていくのでしょうか。

健やかで、たくましく、そして、いたみの分かる人間に！！と、この当たり前の願いでさえも、今の世の中、何か、すぐく欲ばりのように思えてしまいます。

卒園生にとって、残された日々が、心に残る楽しい時でありますように。



# 馬路村が 大好きだから 会談座



共済会館（高知市）会議室で  
2月28日

## 出席者

- 乾 薫さん（馬路会）
- 五百蔵庫惟さん（"）
- 尾崎直美さん（"）
- 国廣憲司さん（"）
- 乾 道弘さん（"）
- 島田朝彰さん（馬路村）
- 吉松正博さん（"）
- 五味隆仁さん（"）
- 岡林直裕さん（新聞記者）

このほど、馬路村教育委員会の呼びかけにより、高知馬路会（会長・乾 薫さん）の皆さんと関係者によります『馬路村が大好きだから座談会―外からみる馬路村―』が開催されました。熱心な意見交換がなされましたので、内容の一部をご紹介します。

**司会** 村に對しまして、村外から大きな声で応援歌を歌っていただくために、お集りいただいたのですが、まず、ふるさとに對する思いをどうぞ。

**乾（薫）** 私は営林署勤務が長くて、約四十年前に村を出ました。昔は国有林に依存した林業立村という意識が特に強かったのですが、最近では林業界の低迷による急激な過疎にも、うまく対応しているように見えますね。

それは温泉を核とする観光面の開発であったり、柚子産業の振興であったりするわけですが、村全体が一致団結して協力しあっているからでしょうか。

**五百蔵** 小学校の頃から魚梁瀬高知間を往來してきました。職場関係でも出身地を馬路村ですと言えば「あのゴツクの所かね」とすぐに解ってくれましたね。以前は苦労したのですが、フルマラソン大会についても数あるなかで企画がユニークですよ。やはり企画の切り出しは若い人が引っぱらなくては。失敗しても投資と思えば良いのです。

**魚梁瀬**の集落は台地へ移転しても、子どもの頃の思い出は深く心に刻まれています。  
**国廣** 馬路での生活は小学校五年までで、あとは父親（営林署勤務）についてあちこちの生活でした。今は県の土木部で主に河川・道路・公園関係の仕事をしています。四万十



↑左から 島田 朝彰さん  
尾崎 直美さん  
国廣 憲司さん

五百蔵庫惟さん  
乾 薫さん  
乾 道弘さん

川筋はすごいですよ。どんどん予算がついている。自然石を使っての改修工事や修景施設など。馬路村も豊かな自然に恵まれているのですから、参考にしてほしいですね。

温泉下流のコンクリート護岸は失敗でした。私が安芸土木事務所勤務の頃担当した工事でしたが。

**尾崎** 馬路を離れて二十七年になります。やむなく村を出た者には、口ではいいあらわせないような、ふるさとへの思いが常にあります。たくさんの人を呼び込む大きなイベントも良いのですが、四季それぞれの折に、少人数で集える企画があってもいいなと思います。もちろん応分の負担を出しあっていますね。

**乾(道)** 両親が馬路にいます。いつでも帰って寝れるという安心感があります。このような会も含めまして若い人との交流をもっと持ちたい。高知市の若い人の間でも、馬路村の好感度は高いです。でも遊ぶ所がないのが卒直な意見ではないでしょうか。

**司会** 村について現在住んでいる方はどんな感想を。  
**島田** 出身は北川村ですが魚梁瀬営林署で十七年になり

ます。同じ村にありながら魚梁瀬と馬路は地理的に離れているせい、全く別の特性を持っているように思えます。営林署の人事異動によって児童生徒の数が大きく左右される。人口減少も深刻ですね。魚梁瀬は。

**吉松** 青年団活動も少し停滞しているのですが、四十歳以下の年齢の人が表へ出たがりませんね。村全体を見ても後継者が育ちにくい状況が続いているようにも思われます。

**五味** 若い人の話になりましたが、井の中の蛙ではダメです。どうしても小さい村では、閉鎖的で人間関係が固定化してしまふ。人的交流によってこれを打破しなくては。

**吉松** 酒を飲んでゴチャゴチャ言うのがいちばん悪い。

**司会** もう少し話題を拡げてみましょうか。  
**岡林** 外から見たイメージと、現実の村との違いが大きい



↑左から 岡林 直裕さん(前高知新聞中芸支局長)  
吉松 正博さん  
五味 隆仁さん

のが馬路村なのです。これでイメージが悪くなればどうしようもなくなる。むしろ、テレビコマーションやフルマラソン大会などにより、過大な評価がされすぎている。馬路村に対して、村民がどれほど本音で語りあっているのか。その場が馬路村にあるのか。温泉と森林鉄道が村に二つも必要なのか。

どんな村にしたいのか。もつと村民が語りあわなければならぬ。観光パンフレットを業者が作っているようではダメだ。いつものメンバー、いつもの代表者による会議だけでは本音が汲み取れない。  
**司会** 行政組織等の硬直化はどうか。

**岡林** それぞれの分野で、そこそこの企画力と実行力を持った人がいる。いかにお互いが力を寄せ合い、強力なパワーとしていけるかだ。小さい社会にありがちな閉鎖性と、人的関係の硬直が足を引っぱり合っている。元気な馬路村のイメージが定着しつつあるのに、村長選挙にしてもなぜ若い人が行動を起こさないのか。また年長者がそれを積極的に支援しないのか。

**司会** 外から見るイメージと村の現状の違いが、村長選挙

へ如実にあらわれた訳ですか。  
**乾(道)** 人づくりに、どれほど予算を入れているのでしょうか。企業は将来も企業として存続するためにも、どんどん投資しています。

**五百蔵** 馬路村という行政枠に、とらわれすぎてもどうかと思います。人的資源も物的資源についても。

**島田** 馬路と魚梁瀬のおもわくの違いがあり、そのうえ昔から村に住む人とそうでない人との間にも目に見えない壁がある。これをふっ切らないてはいけません。

**尾崎** みんな応援しているのですよ。馬路村を。

子どもの頃に遊んだあの山道には、きつとあの地蔵様が今も村民の安寧を願っているはずだし。

**岡林** 閉鎖的な高知県東部にあって馬路村はまだまだ。ポイントはお互いに本音で話しあえる場がいくらあるかにかかっている。それを幾度となく繰り返すことによつて頭が柔軟になりますよ。

多くの意見を割愛させていただきます。また文中の敬称を略させていただきます。

**司会** 清岡博之(教育長)  
清岡明德(社教主事)

# ヤナセ子ども会活動を通じて

島田朝彰



魚梁瀬子ども会は、子ども達の成長の手助けにと、PTAを中心に活動を続けています。

数年前には、ソフトボールをしてきたこともありますが、週四日実施しています。

現在の、季節や学校・村の行事に合わせた活動を中心に週四日実施しています。

その活動には大きくわけて、二つあります。

一つ目は体育面。村内駅伝大会への参加や魚梁瀬スカッシュ大会参加、相撲大会、一輪、竹馬や水泳などを行っています。

二つ目はレクリエーション面。体育的なことにゲームを取り入れたり、野外キャンプやクリスマス会、夕食会、お菓子作りなど、さまざまな活動をしています。

対象者が、小学校一年～六年

までの男子10人・女子12人の22人で活動していますが、年齢層が幅広く活動には限りがあります。

しかし、逆にキャンプやクリスマス会では、上級生が下級生の世話をするなど、良い面もたくさんあります。

子ども達をとりまく環境は、『幸』か『不幸』か物があふれています。物が無い時代を知っている人にとつて、それは、ぜいたくかもしれません。

しかし、物があふれている時代しか知らない子ども達に、「ぜいたく」と言っても、心から理解はできない事でしょう。また、「怖いさ、せられん」「熱いき、さわられん」「切ったらいかんき刃物はいかん」と、経験しないで、結果を知らされているので、知識は非常に豊富ですが、応用出来ないでいます。

私は、そんな子ども達が、自分で考え、行動し、いろいろな経験を積むなから、やさしさ、たくましさ兼ね備えた人に成長して欲しいと考えて、活動しています。



## 第十二回中芸地区 子供駅伝競争大会

第十二回中芸地区子供駅伝競争大会は、二月十一日、男子十四チーム、女子七チームの参加で開催されました。

馬路女子のチームでは、甫木理乃さんが第五区で、9分1秒のタイムで区間新記録を出しています。

個人成績は次のとおりです。

馬路A 男子第四位		馬路B 男子第十一位	
総合タイム	53分48秒	総合タイム	1時間58秒
一区(一・九km)	7分17秒	一区(一・九km)	8分21秒
二区(二・四km)	9分33秒	二区(二・四km)	9分50秒
三区(二・七km)	10分44秒	三区(二・七km)	11分55秒
四区(二・〇km)	7分57秒		
五区(二・三km)	8分29秒		
六区(二・七km)	9分48秒		
谷井 光			
清岡 拓也			
門脇 裕司			
乾 竜太			
田中 雄貴			
田中 涼	9分19秒		
上治 純平	9分48秒		
前田 賢孝	11分45秒		
馬路(女子チーム)			
総合タイム	1時間6分29秒		
一区(一・九km)	9分18秒		
二区(二・四km)	11分16秒		
三区(二・七km)	14分18秒		
四区(二・〇km)	9分2秒		
五区(二・三km)	9分1秒		
六区(二・七km)	13分34秒		
山中 亜理沙			





### 新任医師の紹介

嶋崎先生の後任として自治医大卒の伊東秀樹医師が家族と共に、4月1日から赴任されて診療にあたっていますので、略歴等の紹介をします。



伊東 医師

**経歴** 自治医科大学第11期生  
昭和63年平成元年度 研修  
(県立中央病院)  
平成2年度 本山町立国保  
嶺北中央病院勤務  
平成3年度 宿毛市立沖の  
島へき地診療所勤務  
平成4年・5年度 大月町  
立国保大月病院勤務  
平成6年度 研修(自治医  
大・スエーデン・高知市  
民病院)

専門 循環器(嶋崎先生と同じ)

その他 年齢 31才

○家族 幸子(妻)真知(2才)

○生まれ 神奈川県・小学校入学時から高卒まで南国市

○趣味 テニス・バドミントン・釣り(海・川共に行つた所でやれるものを)

○お酒 献盃はだめだが、自分で好きなだけ飲むタイプ

抱負

○一人一人に合った対応(治療)をしたい。

○楽しくやりたい。(気持)

○地域に根差した研究をして発表が出来れば。(馬路のみとは限らない)

○一日も早く地域にとけ込める様にしたい。

### 嶋崎先生

### ありがとうございます

医師の人事異動により、嶋崎達也先生は、3月31日付で退職されました。

先生は、昭和63年及び平成4年から平成7年3月まで、4年間の勤務で、二女の誕生などもあり馬路村もふるさとの一つになったことと思います。先生の医療は、病気に負けない健康な体を作ることが大

事であり、薬は、その応急処置であるとの考えで、病気の予防に特に力を入れてご指導をいただきました。

又、奥さんの「なぎさ」さんは、保健婦の資格をもっており、保健衛生活動や診療所の手伝いなど、村の事業にも多くのご支援をいただきました。

その中でもご夫妻の連携による、健康教育・健康教室の開催は、村の中央に人を集めるのでなく、村内の各地区に

出かけて開くため、時間は短くても、医師のアドバイスも聞けるなど、お年寄りや、体の弱い人などたくさんの方々に喜ばれ好評でした。



健康相談にあたる嶋崎医師

人間が健康ですこやかに生きるためには、

- 一、食事(食べ物に注意する)
- 一、運動(適度の運動をする)
- 一、心のもちかた(病は気から)

の大切さをご指導いただきました。退職後は、高知市一宮で診療所をご家族で、開業されたいと。新しい一歩を歩まれるとのこと。

足かけ、4年間にわたつての本村での活躍、ほんとうにありがとうございます。新天地で活躍をお祈りします。

住民課長



安田川の遊漁者にお願  
**あゆ漁の時ゴミを  
捨てないで!!**

馬路村民も安田村民も共通の財産、安田川に対して「心のふるさと安田川」として、大切に守り、河川の美化に努めて、清流を守っているとこ

さて、近年あゆ漁については、「安田川のあゆ」が特に好評で、多くの釣師達でにぎわっているところであり、過疎地にあつてはうれしいところ

です。又、一方では、釣師達の中に、お弁当のゴミやジュースの空きカン、ビニール袋類を、そのまま安田川にすてる「公衆のマナーの欠けた釣師達」が多いことが残念です。

「来たときよりも美しく」の言葉もありますが、地元の皆様方にはそんな不心得者はいないと思いますが、今一度思い直してみて下さい。

現場で、ゴミを捨てるのを見た、ぜひ「あなたの一言安田川をきれいにしよう」をお願い致します。

みんなの注意で「安田川の清流」を守りましょう。

漁協の関係者の皆様方のご支援もよろしくお願い致します。

安田川を美しくする  
馬路地区村民会議



赤ちゃん万歳

あかあさんといっしょ



大野 将司 くん

平成6年6月6日生

大野 将司 美香 さんの長男です

最近、やっとハイハイが出来るようにになりました。  
本当のおばあちゃんは大阪だけど、馬路にもやさしいおばあちゃんがいるから、さみしくないです。  
たくさん、友達が欲しいので、見かけたら気軽に声をかけてね!!



川崎 亮直 くん

平成6年6月25日生

川崎 直樹 陽子 さんの二男です

みんなあ、りよう君と呼んでよお。  
色白やけんど、れつきとしたオトコやき、まちごうたら許さんぜよ。  
どっちのおじいに似ても、大酒飲みのいごつそうになることまちがいなし。  
期待しちよつてよ。



馬路俳壇

幼児の黒き瞳の大マスク  
笛子鳴く吾が家もつとも古家にて  
ちづ子

歌かるた読む母恋し友恋し  
山月やくみおく水の凍りたる  
うた子

直下地震の作を案ず寒の星  
たんぼぼや細道多しふる里は  
喜美栄

晩年に反抗期あり寒の紅  
これからも大事な人生日向ぼこ  
雅子

軒つららきらりきらりと落ちにけり  
しやぼん玉ふわりと庭の風に乗る  
清子

せんもなや蒔き忘れたる花の種  
初薬師大鼓響きて厄の段  
智都子

黙禱のふかきしじまや梅匂う  
城址の塚寒林に陽は透きて  
一美

竹の秋陽の筋の降る嵯峨野道  
大河内山荘を出て竹の秋  
えい美

ご神体隕石かとも雪の宮  
地獄あらば地獄に落ちよ紅椿  
いわお





\*\*\*\*\*  
**老人医療を  
 受給されている方へ**  
 平成7年4月1日から  
 老人医療に係る負担金が  
 次のように変わります。

**飼い犬の登録制度が変わります**  
 平成7年4月1日から実施

**毎年1回の登録が  
 生涯1回に！**

犬を飼っている皆さん、今年の四月から犬の登録制度が変わることになりました。  
 ・毎年一回の登録が、新制度では生涯に一回登録すれば良いこととなります。つまり四月一日以降に一回登録を済ませば、あとはその必要がなくなります。しかし、飼い犬が死亡した時や犬の所在地が変わった時、あるいは飼い主の住所の変更があった時などは、そのたびに飼い主は市町村へ届け出をしなければなりません。  
 ・ご注意ください  
 ・平成六年度に犬の登録をし



ていた方も、平成七年四月一日から実施される新制度でも登録をしなければなりません。  
 ・犬の鑑札と狂犬病予防注射済票は、犬の首輪につけていなければなりません。  
 ・狂犬病の予防注射は、従来と同様に年一回受けなければなりません。  
 ・料金は次のとおりです。  
 登録料 三、〇〇〇円  
 注射料 二、七〇〇円  
 合計 五、七〇〇円

**外来** 各月の最初の診療日に  
 ……1,010円  
**入院** 1日につき  
 ……700円

なお、入院時の食事に対してお支払いいただく負担額（1日600円）は現行どおりです。

**▽スポーツ安全保険**

スポーツや文化活動に励まれている皆さん、『スポーツ安全保険』に加入されていますか。  
 学校週五日制の実施に伴いその休日に様々な生涯学習活動が行われています。万が一に備えて、ぜひ、加入をお勧めします。

- ◇ ◇ ◇
- 対象となる事故
- ・グループ活動中の事故
- ・往復途上の事故
- 保険期間
- ・平成七年四月一日から翌年三月三十一日まで
- 問い合わせ先
- ・馬路村教育委員会

☎四一二二一六

5人以上のグループでご加入下さい。	掛金 (1人年額)	傷害保険 (保険金額)			賠償責任保険 (支払限度額)	共済見舞金
		死亡・後遺障害	入院	通院		
・スポーツ少年団・子ども会など中学生以下のグループ ・成人の文化活動・奉仕活動のグループ	400円	最高 2,000 万円	1日につき 4,000円	1日につき 1,500円	対人賠償 1人1億円 1事故5億円	突然死および日射病、熱射病による死亡
・ママさんバレーなどの地域スポーツのグループ ・高校の運動部及び大学・会社などのスポーツ同好会 ・一定の資格のある指導者のグループ	1,300円				対物賠償 500万円	120万円
・老人クラブ団体 団体会員がおおむね60歳以上の人により構成された団体	600円	500 万円	1,800円	1,000円		

**▽四月は土地月間です**

- 土地は限りある資源です。一人一人が有効利用に努めましょう。
- 土地の売買は、地価公示・地価調査価格を参考に適正な価格で行いましょう。
- 一定面積以上の土地については、事前には、事前に県知事に届出が必要となります。
- ※届出の必要となる土地  
市街化区域  
二、〇〇〇㎡以上  
市街化区域以外の都市計画区域  
五、〇〇〇㎡以上  
都市計画区域以外の区域  
一〇、〇〇〇㎡以上

- ※問い合わせ先  
高知県土地対策課  
○八八八(三三)九七七八  
馬路村役場総務課  
(四)二一一一

**「印鑑」を忘れない様に！！**  
 役場へおいでの方で、住民票、戸籍抄本などの各種証明や、医療費などの申請には、「印鑑」が必ず必要ですから、忘れずにもってきて下さい。

馬路村の  
歴史と  
伝説



〈通算第56回〉

馬路村の年中行事 (10)

馬路公民館長 山中 巖

三月十八日 春の社日

三月二十一日 春の彼岸

四月八日 灌仏会(花まつり)

五月五日 端午の節句

春の社日

社日様は、春分と秋分に近い前後の戌の日をいい、春の社日様は、農業の始めの頃であり、秋の社日様は稲の収穫期のころで、社日様は、作りの神様として農民の信仰が厚かったのです。

社日様の風習は、中国から伝わり、日本のそれぞれの地域で独自の風習ができていったものです。地域によっては、田の神様として餅をついてお祭りするところもあり、又、

春の彼岸

三月十八日から二十四日ま

で春の彼岸といい、十八日を「彼岸の入り」二十一日を「中日」二十四日を「彼岸のサメ」と言っています。

一般的には、墓地を清掃し檜、榊(神道)を新しいものに替え、お菓子や果物をお供えし、お墓参りをする期間であり、先祖の霊を供養するときであると考えられています。

彼岸とは「向う岸」でこちら側は「比岸」といいます。

「向う岸」は阿弥陀様の住む極楽浄土で、先祖の霊が安んじている場所であり、「比岸」は私たちの生きている現世です。人々はみな極楽へ往生したいという願いを持って居り、ここに彼岸の行事が生まれたと考えられます。

彼岸の行事は、中国から伝わったとも、又、わが国独自の行事で、彼岸の法要は、延暦二十五年(八〇六)年恒武天皇がとり行ったのが始まりとも伝えられています。

平安時代に始まった彼岸は、「源氏物語」にも記されていますが、当日は十一日間ありました。江戸時代になって、七日間となったのです。

明治十一年春分の日が春季皇霊祭、秋分の日が秋季皇霊祭となりましたが、昭和二十三年七月、国民の祝日となり

馬路村歌壇

峡の夜の凍てつく寒さ拍子木の音近くなりまた遠ざかり行く

安子

境内の手洗石には苔生いて沈む檜の実に光あたれり

源治郎

冬枯れの泉流れる谷の山葵

久子

緑色濃く葉をひろげたり

満

青よりも黄に燿ける竹群の

いわお

さやぎて止まず二月寒の日

山のわが村の冬畑一日歩き

土器のかけらを拾い集むる

八十で逝きたる母の詠みしうた

幼児抱きてわれはしみじみ

地震後の火事しづまりて

遺体捜す家族の思い見つ涙す

公約を数多並べし候補者ら

議員になれば又別の

幼き日別れし瞳輝きて

心はおどる今日一日先生

心はおどる今日一日先生

心はおどる今日一日先生

心はおどる今日一日先生

心はおどる今日一日先生

佐由里

春分の日は「生物をたたえ、自然をいつくしむ日」秋分の日には「祖先を敬い、亡くなった人をしのぶ日」となりまし

た。馬路村では、特別な行事はなかったようです。ただ親戚やお世話になった仏様に、おはぎや果物などをお供えし、またお墓参りをする風習は昔からありました。

大正から昭和の初期にかけて、「お花参り」といって、室戸の東寺にお参りし、山麓の水掛地蔵に水をかけ、ミクラ洞に行つて「サイの河原」で小石を積んだりする信者はかなり居たようです。

### 灌仏会(花まつり)

四月八日、お釈迦様の誕生日を祝つて行う仏事です。

花御堂といつていろいろな花で飾つた小堂をお寺につくり、銅製の誕生仏の像を水盤の上に安置し、竹の柄杓で頭上から甘茶をそそぎます。

甘茶は、生まれたばかりのお釈迦様の体に九ツの竜が天から清らかな水を吐きそいで産湯をつかわせたという伝説にもとづくものです。

昔は甘茶を竹筒などに入れて持ち帰る人もいました。又、甘茶で墨をすり文字を書いた

### 端午の節句(菖蒲の節句)

この節句は、もともと神を迎える祓えの日であり、そして女性の休養日でした。

しかし、菖蒲を屋根にかけ、粽を食べ、蓬の人形をつくる中国伝来のしきたりと共に、平安時代に騎射の行事がはじまり、鎌倉時代には流鏑馬が行われ、室町時代には兜人形がつくら

れ、江戸時代には、男の子の健康と出世を祈つて鯉のぼりを立てるようになり、男の子を祝う日へと変わって行きました。そして五月五日、菖蒲の節句は男子の節句として独立していったのです。

菖蒲は、香りが高く、邪気をはらい病気をのぞくと言われています。

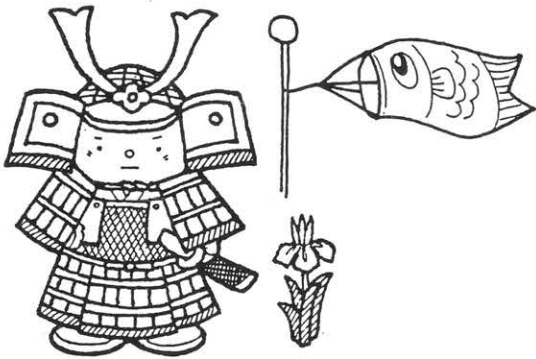
現在、男の子供のいる家庭では、鯉のぼりやフラフなどを立て、武者人形を飾り、柴餅、粽等をお供えし、幟は四月二十八日に立て、五月十五日に降します。初節句や七歳の立て上げには盛大な祝宴をします。

藩政時代には、五月五日に餅二・三升をつき、四日の晩

には菖蒲、よもぎ、かやの束をつくり、屋根に放りあげる習俗があり、初のぼりの家では、来客があると、祝宴をもよおしますが、一般の者は、午前中は働き、午後は仕事を休んで節句を祝いました。

また、菖蒲、よもぎ等を入れた菖蒲酒を作り、家の神々に供えると共に、家族が飲みました。お風呂にも菖蒲を入れました。当時は、この日の菖蒲には健康を守る呪力があると信じられていたのです。

なお、大正から昭和の初期にかけては、田圃などの広場で祝宴をかねて大凧をあげ、競い合う行事も行われました。



### 暮らしのポイント

#### たけのこ

たけのこをおいしく食べるコツは、ゆでる際に特有のアクをよく抜くこと、部位にあわせて調理をすることです。

穂先に近い内側のやわらかい皮は姫皮といい、小口からせん切りにして、酢のもの、吸いもの、サラダなどに。真ん中は若竹煮、地がつお煮、木の芽あえ、天ぶら、酢豚、田楽に。根元のかたい部分は、せん切りか薄切りにしてたけのこご飯、炒めもの、若竹汁などに向いています。

たけのこのえぐみの正体は、

ホモゲンチジン酸とシユウ酸です。特にたけのこ中のシユウ酸は、掘り取った後24時間で、2・3倍にも増えることが知られています。

たけのこをゆでる時に、ぬかを入れるといいといわれるのは、ぬかの溶けたゆで汁にシユウ酸が大量に溶け出すからです。ぬかを入れたゆで汁には、加えない時の10数倍のシユウ酸が溶け出しており、たけのこ自身に残っている、シユウ酸の量は約半分減ります。



### ご出生おめでとうございます

### ごめい福をお祈りします

氏名	父	母	続柄	生年月日	部落
高橋 侑子	勝	弘江	二女	7・2・7	東川

氏名	性別	年齢	死亡年月日	世帯主	続柄	部落
山崎 勝	男	88	7・1・29	本人	本人	魚梁瀬
山中 豊治	女	81	7・2・6	本人	本人	影
山崎 市恵	女	78	7・2・10	本人	本人	魚梁瀬
藤原 皆恵	女	78	7・3・8	本人	本人	魚梁瀬
尾谷 園江	女	85	7・3・13	本人	本人	日浦

4月・5月 むらの行事

4月		5月		
日	月	日	月	
1	土	1	月	
2	日	2	火	
3	月	③	水	憲法記念日
4	火	④	木	国民の休日
5	水	⑤	金	子どもの日
6	木	6	土	
7	金	7	日	
8	土	8	月	
9	日	9	火	
10	月	10	水	
11	火	11	木	総合検診(馬路)
12	水	12	金	総合検診(魚梁瀬)
13	木	13	土	
14	金	14	日	
15	土	15	月	馬路ソフトバレーボール大会(~16日)
16	日	16	火	
17	月	17	水	
18	火	18	木	60歳いきいき大学
19	水	19	金	
20	木	20	土	
21	金	21	日	
22	土	22	月	
23	日	23	火	
24	月	24	水	
25	火	25	木	
26	水	26	金	
27	木	27	土	
28	金	28	日	婦人ガン検診 午前 馬路 午後 魚梁瀬
⑳	土	29	月	みどりの日
㉑	日	30	火	
		31	水	



ひらひらと蝶のよろこび

はね  
翅にあり(北村涼々子) -12-